

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 キリスト教概論	教員名 近藤愛哉	
科目時間数 : 60時間 (30限)	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 紀元前（旧約聖書）、紀元1世紀（新約聖書）に書かれた「古典」でありながら、現代においても世界中で読み継がれ、多くの人々に生きる指針を与え続けている聖書に触れ、この世界、人間という存在を理解するための一つの糸口を見出す。キリスト教の世界観を知ることにより、学生たちの世界観、人間観の構築の一助とする。</p> <p style="text-align: right;">（当該科目が最も関連するDPに○）</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける <input type="checkbox"/> 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける <input type="checkbox"/> 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む</p> <p>【授業全体の内容の概要】 イエス・キリストという人物、その教え、生き方に触れる。旧約聖書の世界観、人間観に触れる。</p> <p>【授業における達成課題】 キリスト教の思想や哲学が社会福祉に与えた影響を理解できる</p>		
	使用教材	出版社
	「聖書」	日本聖書協会
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR <input type="checkbox"/> 2. 介護実習室 <input type="checkbox"/> 3. 家政実習室 <input type="checkbox"/> 4. 視聴覚室 <input checked="" type="checkbox"/> 5. PC実習室 <input type="checkbox"/> 6. 接遇実習室 <input type="checkbox"/> 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 <input type="checkbox"/> 5. 実技試験 <input type="checkbox"/> 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/></p>		
<p>【内容】 教会牧師</p>		

科目名 キリスト教概論		科目時限総数 30 時限	教員名 近藤愛哉
時限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	イントロダクション	授業計画の確認。「キリスト教概論」を学ぶ意義を知る。	
2, 3 限	聖書という書物	聖書66巻の構成／世界中で読まれ続けている聖書／その成り立ちを知る。	
4, 5 限	イエス・キリストと新約聖書（福音書）	イエスの人物像／その生涯を記録した「福音書」について	
6, 7 限	マルコによる福音書を読む	小グループに分かれて、聖書に記録されている内容についてディスカッションをする。	
8, 9 限	イエスの生き方/視点／教えに触れる	イエスの教えが現代に生きる私たちにとってどのような意味を持つのか考える。	
10, 11 限	同上	同上	
12, 13 限	立体的に聖書を捉える	映画「サンオブゴッド」鑑賞	
14, 15 限	同上	同上	
16, 17 限	世界を変えた十字架	イエス・キリストの十字架が世界に及ぼしている影響・その意味について考える。 ※ネルソン・マンデラの人生	
18, 19, 20 限	旧約聖書に見る世界観	旧約聖書「創世記」から、この世界について考える。	
21, 22, 23 限	旧約聖書に見る人間観	旧約聖書「創世記」から、人間の存在について考える。	
24, 25, 26 限	同上	同上	
27, 28 限	旧約聖書の人物	旧約聖書の人物「ノア」「アブラハム」「モーセ」らの生き方について考える。	
29 限	世界の問題・課題と聖書	聖書が世界の問題・課題に対してどのように解決の糸口をもたらすことができるのか。	
30 限	まとめ	15週を振り返って、それぞれが聖書とどのように向き合い、その内容を受け取ったのかをまとめる。	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 情報リテラシー入門	教員名 梅木 美喜子								
科目時間数 : 15時間 (7.5限)	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習								
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年 : 1年 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・集中								
<p>【授業の目的・ねらい】 情報の意味と情報機器の発達過程とトータルな情報機器の理解、ワープロ、表計算、プレゼンテーションの基本操作の習得</p> <p style="text-align: right;">(当該科目が最も関連するDPに○)</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む <p>【授業全体の内容の概要】 WORD (ワープロ) の基本的な操作方法と実用的なドキュメントの作成</p> <p>【授業における達成課題】 当該科目について、心理福祉専門職として福祉実践に必要な知識を習得する</p>									
	使用教材								
	出版社								
	Word 2016 FOM出版								
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. <input checked="" type="checkbox"/> PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td colspan="2">7. その他 ()</td> </tr> </table>		1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. <input checked="" type="checkbox"/> PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室						
5. <input checked="" type="checkbox"/> PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()							
<p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート</td> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席</td> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td>5. <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験</td> <td colspan="3">6. その他 ()</td> </tr> </table>		1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度	5. <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験	6. その他 ()		
1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度						
5. <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験	6. その他 ()								
<p>【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>									
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有<input checked="" type="checkbox"/> 無</p>									
<p>【内容】 コンピュータメーカーのシステムエンジニアとしてシステム開発やユーザ教育・社内人材育成に従事</p>									

科目名	情報リテラシー入門	総時限数	7.5 時限	教員名	梅木 美喜子
時限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標			
1 限	タイピング	パソコンの基本操作・用語、タッチメソッドの確認			
2 限	WORDの基礎知識	現在のビジネス環境とネットワーク、WORDの概要説明			
3 限	文字入力	タッチメソッドの練習色々な方法での日本語変換			
4 限	〃	〃			
5 限	文書の作成	タッチメソッド、ページの設定			
6 限	〃	セキュリティ対策とトラブルシューティング			
7 限	〃	〃			
7.5 限	確認試験	実技・知識的要素の確認			

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 身体による表現活動	教員名 高橋裕貴子	
科目時間数 : 15時間 (7.5限)	授業の種類 : 講義 ・ 演習 ・ <u>実習</u>	
必修・選択の別 : <u>必修</u> ・選択	配当学年 : 1年	開講時期 : 前期・後期・ <u>集中</u>
<p>【授業の目的・ねらい】 スポーツは様々な分野でレクリエーションやリラクゼーションの手法となっており、老若男女問わず楽しめるものから、競技性を重視したものまで幅広く扱われている。各種スポーツのルールを通し、団体競技の目的を理解するとともに、スポーツ実技における基本的な姿勢や目的、価値を学ぶ。</p> <p style="text-align: right;">(当該科目が最も関連するDPに○)</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける <u>2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける</u> 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む <p>【授業全体の内容の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーションやスポーツの役割を学ぶ。 ・スポーツのルールの意義を学び、団体競技の楽しさを知る <p style="text-align: right;">・スポー</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツのルールを理解する。 ・団体競技の特性を知り、チームプレーの重要性を理解する。 <p style="text-align: right;">・自ら主体的に協議に参加する姿勢を身に着ける。</p>		
	使用教材	出版社
	※実技のため、その都度提示	
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 <u>7. その他 (体育館等)</u></p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 <u>2. レポート</u> <u>3. 出席</u> <u>4. 授業態度</u></p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <u>○</u> 無</p>		
<p>【内容】 公立学校の体育講師等</p>		

科目名		科目時間総数	教員名
身体による表現活動		7.5 時限	高橋 裕貴子
時限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	球技	バレーボール・ドッチボール・バスケットボールのルール・プレー	
2 限			
3 限			
4 限			
5 限	レクリエーション	筋力トレーニング・ダンスの展開	
6 限			
7 限			
7.5 限			

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名	言語による表現活動	教員名	川村 繭子
科目時間数:	30時間 (15限)	授業の種類:	<input type="radio"/> 講義 ・ <input checked="" type="radio"/> 演習 ・ 実習
必修・選択の別:	<input checked="" type="radio"/> 必修・選択	配当学年:	1年
		開講時期:	<input checked="" type="radio"/> 前期・後期・集中
<p>【授業の目的・ねらい】 英語を主体とするコミュニケーション能力を身につける</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 (当該科目が最も関連するDPに○) 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 2. <input checked="" type="radio"/> 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む</p> <p>【授業全体の内容の概要】 自分のことを英語で表現できるようになる。また、英語でコミュニケーションをとりながらクラス名を知り、より発話しやすい環境を作る。簡単な英単語がとっさに言える瞬発力を高め、色々な場面での英会話表現を知り、実際に発話できるように導く。</p> <p>【授業における達成課題】 ・積極的に英語でコミュニケーションをとる意欲を育て、わからないことを抵抗なく質問したり、考えたり、答えたり、反応したりすることができるようになる。 ・場面に応じた英会話表現をとっさに表現できるようになる。</p>			
	使用教材	出版社	
	Passport1 second edition	Oxford Press	
<p>【使用教室】</p> <p>1. <input checked="" type="radio"/> HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. <input checked="" type="radio"/> 筆記試験 2. <input checked="" type="radio"/> レポート 3. <input checked="" type="radio"/> 出席 4. <input checked="" type="radio"/> 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：試験、レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79～70点)、C (69～60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p>			
<p>【内容】英会話教室講師</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
言語による表現活動		15 時限	川村 繭子
時限数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1	オリエンテーション 英語で自己紹介する	英語で自己紹介、英語でクラスメイトの紹介をする	
2	簡単な英会話表現 機内で質問する	How do you say _____ in English?の表現ができる	
3	”	Unit 1 : Would you kile chicken of fish?	
4	簡単な英会話表現 入国審査に挑む	What's color is _____?の表現ができる	
5	”	Unit2 : Can I have your passport, please?	
6	簡単な英会話表現 食べ物を注文する	IN which month is ___?の表現ができる	
7	”	Unit5:Are you ready to order?	
8	簡単な英会話表現 家族について話す	What's _____?の表現ができる	
9	”	Unit3:My mother has her own buisiness.	
10	簡単な英会話表現 道をたずねる	How many ___ are there in ___?の表現ができる	
11	”	Unit6:Where's the station?	
12	簡単な英会話表現 病状を話す	What's the first letter of ___?の表現ができる	
13	”	Unit9;I have a stomackache.	
14	簡単な英会話表現 地元について話す	What does ___ say in English?の表現ができる	
15	”	Unit10:I'm from Japan.	

科目名		科目時間総数	教員名
日本国憲法		60時間 (30限)	吉田 友哉
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間	日本国憲法の基本原理	日本国憲法の成立とその基本原理について説明できる。
	2時間	〃	〃
2限	3時間	日本国憲法の基本原理	日本国憲法の成立とその基本原理について説明できる。
	4時間	〃	〃
3限	5時間	人権の享有主体	人権の享有主体とそれにかかわる代表的な判例について説明できる。
	6時間	〃	〃
4限	7時間	人権の享有主体	人権の享有主体とその代表的な判例について説明できる。
	8時間	〃	〃
5限	9時間	幸福追求権	幸福追求権とその代表的な判例について説明できる。
	10時間	〃	〃
6限	11時間	幸福追求権	幸福追求権とその代表的な判例について説明できる。
	12時間	〃	〃
7限	13時間	法の下での平等	法の下での平等とその代表的な判例について説明できる。
	14時間	〃	〃
8限	15時間	法の下での平等	法の下での平等とその代表的な判例について説明できる。
	16時間	〃	〃
9限	17時間	精神的自由	精神的自由権とその代表的な判例について説明できる。
	18時間	〃	〃
10限	19時間	精神的自由	精神的自由権とその代表的な判例について説明できる。
	20時間	〃	〃
11限	21時間	精神的自由	精神的自由権とその代表的な判例について説明できる。
	22時間	〃	〃
12限	23時間	精神的自由	精神的自由権とその代表的な判例について説明できる。
	24時間	〃	〃
13限	25時間	精神的自由	精神的自由権とその代表的な判例について説明できる。
	26時間	〃	〃
14限	27時間	精神的自由	精神的自由権とその代表的な判例について説明できる。
	28時間	〃	〃
15限	29時間	経済的自由	経済的自由権とその代表的な判例について説明できる。
	30時間	〃	〃

限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標
16限 31時間 32時間	経済的自由 "	経済的自由権とその代表的な判例について説明できる。 "
17限 33時間 34時間	人身の自由 "	人身の自由とその代表的な判例について説明できる。 "
18限 35時間 36時間	人身の自由 "	人身の自由とその代表的な判例について説明できる。 "
19限 37時間 38時間	社会権 "	社会権とその代表的な判例について説明できる。 "
20限 39時間 40時間	社会権 "	社会権とその代表的な判例について説明できる。 "
21限 41時間 42時間	基本的人権のまとめ "	基本的人権について振り返り、用語や判例について説明できる。 "
22限 43時間 44時間	国民主権と選挙 "	国民主権と各選挙の制度について説明できる。 "
23限 45時間 46時間	国会 "	国会の役割とその働きについて説明できる。 "
24限 47時間 48時間	国会 "	国会の役割とその働きについて説明できる。 "
25限 49時間 50時間	内閣 "	内閣の役割とその働きについて説明できる。 "
26限 51時間 52時間	内閣 "	内閣の役割とその働きについて説明できる。 "
27限 53時間 54時間	裁判所 "	裁判所の役割とその働きについて説明できる。 "
28限 55時間 56時間	裁判所 "	裁判所の役割とその働きについて説明できる。 "
29限 57時間 58時間	平和主義 "	平和主義についてその歴史を振り返り説明できる。 "
30限 59時間 60時間	まとめ "	日本国憲法の学習を振り返り、説明できる。 "

科目名		科目時限総数	教員名
法学入門		7.5	高橋 秀憲
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	はじめに	礼に始まって例に終わる意味を理解する	
2 限	六法と法令秩序	六法を手掛かりに公法・私法・社会法他様々な基本概念を習得する	
3 限	裁判所に行ってみよう	近代法の原則と現代法の原則、法は生き物であることを理解する	
4 限	国民の要件	裁判の仕組みと裁判所の組織・三審制を理解する	
5 限	車社会と法	憲法10条と国際法の関連法令条文のつながりを理解する	
6 限	消費生活と法	民事・刑事・行政責任、服部君事件を振り返りその関係を知る	
7 限	勤労生活と法	不法行為、原状回復義務と損害賠償責任の内容を知る	
7.5 限	家族生活と法	契約の自由と公序良俗、契約の無効と取り消しを理解する	
	おわりに	勤労の権利及び義務、労働三権と労働三法を理解する	
		親子・夫婦・親族、生活保持の義務と扶養の義務を理解する	
		国法だけでなく各地域のルールである条例を理解する	

授業計画表

ソーシャル
ワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 心理学	教員名 會津 真子	
科目時間数 : 60時間 (30 限)	授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	配当学年 : 1年次 開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input checked="" type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 集中	
<p>〔授業の目的・ねらい〕 心理学における基本的な知識を身につけ、心理的支援についての学びを深める</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身につける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身につける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む </p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 心理学の基本的な知識を理解した上で、現場で活用することができるような心理的支援のスキルを取得することを目指す</p> <p>〔授業における達成課題〕 <ul style="list-style-type: none"> ・心理学の歴史や、科学としての心理学とその研究法について理解する ・人の心の仕組みや機能について理解する ・心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本を身につける ・様々なことへ興味を持つ姿勢を身につける ・自分自身のことについて理解を深める </p>		
	使用教材	出版社
学生用	心理学と心理的支援	中央法規
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>		
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>		
<p>【備考】 <ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験は60点以上を合格とする。 ・授業態度については、ルーブリック評価を参考にする。 </p>		
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p style="text-align: center;">スクールカウンセラーとしての 【内 容】 実務経験</p>		

科目名		心理学		科目時間総数	60 時間 (30 限)	教員名	會津 真子
限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ		主な学習内容と達成目標			
1	限	1 時間	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する			
		2 時間					
2	限	3 時間	日常生活と心の健康について学ぶ	ストレスの代表的な理論や理解のしかたを学ぶ			
		4 時間					
3	限	5 時間	〃	心の健康の維持や増進、回復について学ぶ			
		6 時間					
4	限	7 時間	心の生物学的基盤について学ぶ	ニューロンの電氣的活動や神経系について学ぶ			
		8 時間					
5	限	9 時間	〃	感情の全体像やそのメカニズムについて学ぶ			
		10 時間					
6	限	11 時間	〃	動機づけが起こる過程や、動機づけの強さに影響を与える要因について理解する			
		12 時間					
7	限	13 時間	〃	感覚・知覚の基本的な仕組みを学ぶ			
		14 時間					
8	限	15 時間	〃	学習の概要について学ぶ（古典的条件づけ・オペラント条件づけ）			
		16 時間					
9	限	17 時間	〃	記憶の基本的特性と記憶の種類について学ぶ			
		18 時間					
10	限	19 時間	〃	知能の概要、知能検査の仕組みを理解する			
		20 時間					
11	限	21 時間	〃	自己の成り立ちや自己に影響する要因について学ぶ			
		22 時間					
12	限	23 時間	人の心の発達過程について学ぶ	発達段階と発達課題について理解する			
		24 時間					
13	限	25 時間	〃	認知と道徳性の発達について理解する			
		26 時間					
14	限	27 時間	心理学の歴史と心理学の対象について学ぶ	心理学の発展の歴史を理解する			
		28 時間					
15	限	29 時間	前期のまとめ	予備日（レポート対策、国試問題チャレンジ）とする			
		30 時間					

限・時間数		教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標
16 限	31時間	オリエンテーション	後期の授業の内容の概要を理解する 前期の内容についての疑問を解消する
	32時間		
17 限	33時間	心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本について学ぶ	面接および心理検査によるアセスメントについて学ぶ
	34時間		
18 限	35時間	ソーシャルワークにおける心理的支援について学ぶ	各種心理療法について基本的な知識を学ぶ
	36時間		
19 限	37時間	〃	心理療法の、ソーシャルワーク場面への適用について理解する
	38時間		
20 限	39時間	〃	心理職の代表的な資格と業務および専門性について理解する
	40時間		
21 限	41時間	ソーシャルワークと心理学について学ぶ	子ども・家庭福祉の分野での心理的援助について学びを深める
	42時間		
22 限	43時間	〃	高齢者福祉の分野での心理的援助について学びを深める
	44時間		
23 限	45時間	〃	障害児・者福祉の分野での心理的援助について学びを深める
	46時間		
24 限	47時間	〃	精神保健福祉領域の個別支援の実際を理解する
	48時間		
25 限	49時間	〃	支援者支援に関する基本概念について理解する
	50時間		
26 限	51時間	〃	事例を通じて支援制度の導入の仕方について理解を深める
	52時間		
27 限	53時間	まとめ	予備日（レポート対策、国試問題チャレンジ）とする
	54時間		
28 限	55時間	〃	〃
	56時間		
29 限	57時間	〃	〃
	58時間		
30 限	59時間	テスト実施	テストを行う
	60時間		

科目名		科目時間総数	教員名
介護概論		30時間 (15限)	湊 和美・菊池 伸哉
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	オリエンテーション 介護の歴史	家族介護を前提とした老人福祉施策の歴史について理解する。	
2限 3時間 4時間	介護の歴史 〃	介護を社会で担う介護保険制度の導入までの歴史について理解する。	
3限 5時間 6時間	介護の歴史 〃	地域共生社会と地域包括ケアシステムについて理解する。	
4限 7時間 8時間	現在の介護を取り巻く課題 〃	日本における介護職員の必要数、実人員の推移、人材確保に向けた施策等について理解する。	
5限 9時間 10時間	現在の介護を取り巻く課題 〃	介護を担う人材とその国際化の状況を理解する。	
6限 11時間 12時間	介護サービスの理念 〃	介護サービスの理念やサービスの対象者について理解する。	
7限 13時間 14時間	介護サービスの理念 〃	介護の専門性について考え理解する。	
8限 15時間 16時間	介護サービスの対象者 〃	高齢者に対する支援の過程について理解する。	
9限 17時間 18時間	介護サービスの対象者 〃	障害者に対する支援の過程について理解する。 終末期における支援の過程について理解する。	
10限 19時間 20時間	介護に関わる職種とその役割 〃	多職種による連携・協働の重要性について理解する。	
11限 21時間 22時間	介護の過程 〃	介護過程と介護過程の展開について理解する。	
12限 23時間 24時間	介護の過程 〃	ケアマネジメントと介護観、介護実践について理解する。	
13限 25時間 26時間	福祉機器・用具と住宅改修 〃	生活を支える福祉機器・用具および住宅改修と専門職について理解する。	
14限 27時間 28時間	在宅福祉施設・事業所における連携と役割 〃	在宅生活を支える職種と機関、支援における多職種連携の実際について理解し、在宅生活支援に求められるソーシャルワーク機能について考える。	
15限 29時間 30時間	医療施設における連携と役割 〃	医療機関におけるケアワーク、医療ソーシャルワーカーの機能と役割を理解する。看護師とケアワーカーの役割や回復期リハビリテーション病棟における多職種連携と協働について理解する。	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名		課題研究 I		教員名		菊池 裕生	
科目時間数:				30時間 (15限)			
授業の種類:				講義・演習・実習			
必修・選択の別:		必修・選択		配当学年:		1年	
開講時期:				前期・後期・集中			
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>テキスト・サブテキストの熟読を通し、各自研究テーマを設定しレポート作成の土台となる論文を作り上げることを目的とする。</p>							
<p>【ディプロマポリシーとの関連】 (当該科目が最も関連するDPに○)</p> <p>1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける</p> <p>2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける</p> <p>3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む</p>							
<p>【授業全体の内容の概要】</p> <p>1冊のメインテキスト、3冊のサブテキストを熟読し、仮説を立て検証する思考過程を重要視する。また、基本的な読解力を養っていくため、文献を読むことに慣れることからスタートとなる。</p>							
<p>【授業における達成課題】</p> <p>自らが立てた仮説を筋道立てて検証できているか</p>							
		使用教材			出版社		
		適宜指示する					
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>							
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート 3. 出席 4. 授業態度</p> <p>5. 実技試験 6. その他 ()</p>							
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA (80点以上)、B (79~70点)、C (69~60点)、D (59点以下) の4段階で評価する。</p>							
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>							
<p>【内容】大学の非常勤講師</p>							

科目名 課題研究 I		科目時限総数 15 限	教員名 菊池 裕生
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	講義の進め方	
2 限	文献選択	自ら興味のあるテーマに対し、適切に文献を選択できる	
3 限	〃	〃	
4 限	仮説	テーマに対する仮説を立て、実証するための見立てを持つことができる	
5 限	〃	〃	
6 限	序論	序論の作成方法を理解する	
7 限	〃	〃	
8 限	本論	本論の作成方法を理解する	
9 限	〃	〃	
10 限	結論	結論の作成方法を理解する	
11 限	〃	〃	
12 限	製本	レポートを製本する	
13 限	〃	〃	
14 限	添削	最終添削を受け、課題研究Ⅱへの課題を抽出できる	
15 限	提出	レポート提出・フィードバック	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 課題研究Ⅱ	教員名 菊池 裕生									
科目時間数 : 30時間 (15限)	授業の種類 : <input type="radio"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習									
必修・選択の別 : <input checked="" type="radio"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年 開講時期 : 前期 ・ <input checked="" type="radio"/> 後期 ・ 集中									
<p>【授業の目的・ねらい】 課題研究Ⅰで取り上げた課題をもとに、テキスト・サブテキストの熟読を通し、課題解決型のレポート土台となる論文を作り上げることを目的とする。</p> <p style="text-align: right;">(当該科目が最も関連するDPに○)</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <input checked="" type="radio"/> 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む <p>【授業全体の内容の概要】 1冊のメインテキスト、3冊のサブテキストを熟読し、仮説を立て検証する思考過程を重要視する。また、基本的な読解力を養っていくため、文献を読むことに慣れることからスタートとなる。</p> <p>【授業における達成課題】 自らが立てた仮説を筋道立てて検証できているか</p>										
	使用教材	出版社								
	適宜指示する									
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 2px;">1. <input checked="" type="radio"/> HR</td> <td style="width: 25%; padding: 2px;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%; padding: 2px;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%; padding: 2px;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">5. PC実習室</td> <td style="padding: 2px;">6. 接遇実習室</td> <td colspan="2" style="padding: 2px;">7. その他 ()</td> </tr> </table>			1. <input checked="" type="radio"/> HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
1. <input checked="" type="radio"/> HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室							
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()								
<p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 2px;">1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%; padding: 2px;"><input checked="" type="radio"/> 2. レポート</td> <td style="width: 25%; padding: 2px;"><input checked="" type="radio"/> 3. 出席</td> <td style="width: 25%; padding: 2px;"><input checked="" type="radio"/> 4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 2px;">5. 実技試験 6. その他 ()</td> </tr> </table>			1. 筆記試験	<input checked="" type="radio"/> 2. レポート	<input checked="" type="radio"/> 3. 出席	<input checked="" type="radio"/> 4. 授業態度	5. 実技試験 6. その他 ()			
1. 筆記試験	<input checked="" type="radio"/> 2. レポート	<input checked="" type="radio"/> 3. 出席	<input checked="" type="radio"/> 4. 授業態度							
5. 実技試験 6. その他 ()										
<p>【備考】 評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>										
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p>										
<p>【内容】 大学の非常勤講師</p>										

科目名 課題研究Ⅱ		科目時限総数 15 限	教員名 菊池 裕生
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	ガイダンス	課題研究Ⅱ	
2 限	文献選択	自ら興味のあるテーマに対し、適切に文献を選択できる	
3 限	〃	〃	
4 限	仮説	テーマに対する仮説を立て、実証するための見立てを持つことができる	
5 限	〃	〃	
6 限	序論	序論の作成方法を理解する	
7 限	〃	〃	
8 限	本論	本論の作成方法を理解する	
9 限	〃	〃	
10 限	結論	結論の作成方法を理解する	
11 限	〃	〃	
12 限	製本	レポートを製本する	
13 限	〃	〃	
14 限	添削	最終添削を受け、課題研究Ⅱへの課題を抽出できる	
15 限	提出	レポート提出・フィードバック	

授業計画表

ソーシャルワーク学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 社会福祉概論		教員名 菊池 伸哉	
科目時間数 : 60 時間 (30限)		授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期 ・ 集中	
【授業の目的・ねらい】 社会福祉の概要、仕組み、役割、制度について理解する。そして歴史的流れから社会福祉の必要性を学ぶ。			
(当該科目が最も関連するDPに○)			
【ディプロマポリシーとの関連】 1. <input checked="" type="checkbox"/> 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身につける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身につける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む			
【授業全体の内容の概要】 社会福祉の歴史・制度・社会保障との関連をテキストと講師の実体験を織り交ぜながら解説する。			
【授業における達成課題】 ・ 福祉政策とその背景にある思想・哲学を理解する ・ 現代社会における福祉政策の意義を理解する ・ 社会福祉の発展と現在の動向を理解する			
【使用教材・テキスト等】 社会福祉の原理と政策 弘文堂			
【使用教室】 1. <input checked="" type="checkbox"/> HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()			
【評価方法】 中部学院大学の基準に則る			
【備考】			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内 容】 社会福祉協議会での相談支援業務、研修講師等			

科目名		科目時間総数	教員名
社会福祉概論		60時間 (30限)	菊池 伸哉
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間	社会福祉の視点と枠組み	社会福祉・福祉政策・社会政策の位置づけを学ぶ
	2時間	〃	〃
2限	3時間	社会の変化と福祉	伝統社会から近代社会への歴史的変遷を学ぶ
	4時間	〃	〃
3限	5時間	〃	福祉国家体制の成立までの流れを学ぶ
	6時間	〃	〃
4限	7時間	〃	現代社会の人口、労働、家族の変化を理解する
	8時間	〃	〃
5限	9時間	〃	福祉政策の現代的課題を理解する
	10時間	〃	〃
6限	11時間	福祉の思想と哲学	市場の倫理と論理について理解する
	12時間	〃	〃
7限	13時間	社会福祉と社会政策	慈善事業の発展過程を理解する
	14時間	〃	社会事業の発展過程を理解する
8限	15時間	〃	社会福祉の発展過程を理解する
	16時間	〃	〃
9限	17時間	〃	雇用と所得保障について理解する
	18時間	〃	社会サービスについて理解する
10限	19時間	〃	戦後改革と高度経済成長期の福祉政策を学ぶ
	20時間	〃	〃
11限	21時間	〃	福祉三法から福祉六法体制への変化を理解する
	22時間	〃	〃
12限	23時間	〃	1970年代の福祉政策について理解する
	24時間	〃	〃
13限	25時間	〃	少子高齢化時代の福祉政策を理解する
	26時間	〃	社会福祉基礎構造改革について理解する
14限	27時間	〃	社会資源と福祉政策資源の配分システムを学ぶ
	28時間	〃	政策評価過程と政策評価について学ぶ
15限	29時間	〃	〃
	30時間	まとめ	スクーリングに向けた準備

限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標
16限 31時間 32時間	中部学院大学スクーリング	現代社会の様相 福祉と社会福祉
17限 33時間 34時間		福祉と社会福祉 社会政策と社会福祉 社会福祉原理と市場主義
18限 35時間 36時間		社会福祉におけるニーズとは何か 福祉レジームの視点
19限 37時間 38時間		社会福祉の歴史（イギリスを中心に） 社会福祉の歴史
20限 39時間 40時間		福祉政策の構成要素 普遍主義と選別主義 福祉政策の構成要素 公私（公民）関係
21限 41時間 42時間		社会福祉基礎構造改革は何をめざしたのか 社会福祉基礎構造改革がもたらした新しい「問題」
22限 43時間 44時間		社会福祉専門職と援助活動 社会福祉援助の基礎知識 国際比較の視点から日本の社会を捉える
23限 45時間 46時間		
24限 47時間 48時間		
25限 49時間 50時間		
26限 51時間 52時間		
27限 53時間 54時間		
28限 55時間 56時間		
29限 57時間 58時間		
30限 59時間 60時間		スクーリング修了試験

科目名		科目時間総数	教員名
高齢者福祉論		30時間	高橋洋子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	高齢者と少子高齢社会	高齢者の特性について理解することが出来る	
2限 3時間 4時間		高齢化の進展に伴う課題を理解し、今後の在り方について考えることができる	
3限 5時間 6時間	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境	高齢者の生活の諸側面および取り巻く社会環境について理解する	
4限 7時間 8時間	高齢者福祉の歴史と理念	高齢者観の変遷を学び高齢者福祉の発展過程を理解する	
5限 9時間 10時間	介護保険制度	介護保険制度の枠組み・仕組みについて学ぶ	
6限 11時間 12時間		保険給付・介護報酬・利用者負担について理解する	
		要介護認定の仕組みとプロセスについて理解する	
7限 13時間 14時間		要介護認定調査（演習）	
		地域支援事業について理解する	
8限 15時間 16時間		地域包括支援センターの役割を学ぶ	
		介護保険サービスの特徴を理解する	
9限 17時間 18時間		居宅サービスと施設サービスについて理解する	
	関連諸制度について整理して説明できる （老人福祉法・医療確保法・虐待防止法・認知症基本法）		
10限 19時間 20時間	高齢者に対する関連諸制度	関連諸制度について整理して説明できる （バリアフリー法、住まい法、雇用安定法、育児介護休業法）	
11限 21時間 22時間	関係機関と専門職の役割	高齢者と家族を支援する関係機関や専門職種について説明できる	
12限 23時間 24時間	支援の実際	ケアマネジメント手法について理解する	
13限 25時間 26時間		グループ・地域へのソーシャルワークを理解する	
		家族へのソーシャルワーク（演習）	
14限 27時間 28時間		事例3「8050問題」の状況下で高齢者虐待が疑われる事例	
		認知症ケアにおけるソーシャルワーク（演習）	
15限 29時間 30時間		事例5地域包括ケアシステムにおける居宅・認知症高齢者 全体のまとめ	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 児童・家庭福祉論		教員名 川崎 舞美	
科目時間数 : 30時間 (15 限)		授業の種類 : <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習	
必修・選択の別 : <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年 : 1年次	開講時期 : <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中	
<p>〔授業の目的・ねらい〕 子どもの権利や子ども家庭福祉の概念について学びを深める。その上で子ども、子育て家庭を支える包括的支援についての知識を身に着ける。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身につける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身につける <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 ・ 子ども家庭福祉の歴史や概念について ・ 子ども家庭福祉の実態と課題 ・ 子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践</p> <p>〔授業における達成課題〕 子ども家庭福祉の意義を理解し、子ども家庭福祉のソーシャルワーク実践について説明できる。</p>			
<p>〔使用教材・テキスト等〕 最新 社会福祉士養成講座 児童・家庭福祉 第2版 中央法規</p>			
<p>〔使用教室〕 <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>〔評価方法〕 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>〔備考〕 ・ 筆記試験は60点以上を合格とする。 ・ 授業態度については、ルーブリック評価を参考にする。</p>			
〔担当教員の実務経験の有無〕		<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	
〔内 容〕 社会福祉士としての実務経験 (児童養護施設・県社会福祉協議会)			

科目名 児童・家庭福祉論		科目時間総数 30 時間 (15 限)	教員名 川崎 舞美
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限	1 時間	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する
	2 時間	子ども家庭福祉とは何か	子どもの権利、生命と発達について理解する
2 限	3 時間	子ども家庭福祉とは何か	子ども家庭福祉の意義を理解する
	4 時間	子ども家庭福祉の歴史	子ども家庭福祉に至る前の歴史を学ぶ
3 限	5 時間	子ども家庭福祉の歴史	子ども家庭福祉の変遷・動向について学ぶ
	6 時間	子ども家庭を取り巻く現代社	子ども家庭を取り巻く社会環境や課題について学ぶ
4 限	7 時間	子ども家庭福祉の支援の基盤	子ども家庭福祉の法体系や関係機関について学ぶ
	8 時間		
5 限	9 時間	子ども家庭福祉の支援の基盤	子ども家庭福祉にかかわる人材と専門職について学ぶ
	10 時間		
6 限	11 時間	子どもの福祉課題と支援	子どもや子育て家庭への支援について学ぶ
	12 時間		
7 限	13 時間	子どもの福祉課題と支援	要保護児童、児童虐待、ひとり親にかかわる支援について学ぶ
	14 時間		
8 限	15 時間	子どもの福祉課題と支援	スクールソーシャルワーク、非行少年への支援、障がいのある子どもへの支援について学ぶ
	16 時間		
9 限	17 時間	子どもの福祉課題と支援	子ども家庭福祉におけるソーシャルアクションについて学ぶ
	18 時間		
10 限	19 時間	子ども家庭福祉の ソーシャルワーク実践	子ども家庭福祉におけるソーシャルワーク、アセスメントについて学ぶ
	20 時間		
11 限	21 時間	子ども家庭福祉の ソーシャルワーク実践	母子保健や医療との協働による実践について学ぶ
	22 時間		
12 限	23 時間	子ども家庭福祉の ソーシャルワーク実践	児童虐待、ひとり親家庭への支援、女性福祉にかかわる実践について学ぶ
	24 時間		
13 限	25 時間	子ども家庭福祉の ソーシャルワーク実践	教育との協働にかかわる実践について学ぶ
	26 時間		
14 限	27 時間	子ども家庭福祉の ソーシャルワーク実践	当事者参画とアドボカシーにかかわる実践について学ぶ
	28 時間		
15 限	29 時間	まとめ	これまでのまとめと振り返りを行う
	30 時間	テスト	テストを行う

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ソーシャルワークの基盤と専門職	教員名 西山 直輝									
科目時間数: 30 時間 (15 限)	授業の種類: <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習									
必修・選択の別: <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 選択	配当学年: 1 年次									
開講時期: <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 集中										
<p>【授業の目的・ねらい】 多様化・複雑化・複合化されている今日の社会状況下において、人々の価値観や尊厳が尊重される社会を目指し、ソーシャルワーク専門職としての役割や倫理、理念について理解し、実践できるようにする。</p> <p style="text-align: right;">(当該科目が最も関連するDPに○)</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける <input checked="" type="checkbox"/> 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む <p>【授業全体の内容の概要】 多様化・複雑化している今日の社会状況下において、福祉専門職としての倫理や概念、基盤となる考え方の習得を目指す。</p> <p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉専門職の役割や意義を学び、説明ができる。 ・ ソーシャルワークの理念について理解し、実践できる。 										
	使用教材	出版社								
学生用	ソーシャルワークの基盤と専門職	中央法規								
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td colspan="2">7. その他 ()</td> </tr> </table>			<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室							
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()								
<p>【評価方法】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験</td> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート</td> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席</td> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度</td> </tr> <tr> <td colspan="4">5. 実技試験 6. その他 ()</td> </tr> </table>			<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度	5. 実技試験 6. その他 ()			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験	<input checked="" type="checkbox"/> 2. レポート	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度							
5. 実技試験 6. その他 ()										
<p>【備考】 レポート・科目修了試験・出席率・授業態度等にて評価</p>										
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無</p>										
<p>【内容】 福祉施設での実務経験</p>										

科目名 ソーシャルワークの基盤と専門職		科目時間総数 30時間 (15 限)	教員名 西山 直輝
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1 限 1 時間 2 時間	オリエンテーション	身近にある福祉について学ぶ	
2 限 3 時間 4 時間	社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ	社会福祉士・精神保健福祉士の意義と役割について学ぶ	
3 限 5 時間 6 時間	社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ	社会福祉士・精神保健福祉士の意義と役割について学ぶ ソーシャルワークの理念・原理について学ぶ	
4 限 7 時間 8 時間	社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ	社会福祉士・精神保健福祉士の意義と役割について学ぶ ソーシャルワークの理念・原理について学ぶ	
5 限 9 時間 10 時間	社会福祉士及び精神保健福祉士の法的な位置づけ	社会福祉士・精神保健福祉士の意義と役割について学ぶ ソーシャルワークの理念・原理について学ぶ	
6 限 11 時間 12 時間	ソーシャルワークの概念	国際グローバル定義について学ぶ	
7 限 13 時間 14 時間	ソーシャルワークの概念	ソーシャルワークの倫理について学ぶ	
8 限 15 時間 16 時間	ソーシャルワークの概念	ソーシャルワークの形成過程について学ぶ	
9 限 17 時間 18 時間	ソーシャルワークの概念	ソーシャルワークの形成過程について学ぶ	
10 限 19 時間 20 時間	多職種連携について	多職種連携によるチームアプローチについて学ぶ	
11 限 21 時間 22 時間	多職種連携について	多職種連携によるチームアプローチについて学ぶ	
12 限 23 時間 24 時間	多職種連携について	多職種連携によるチームアプローチについて学ぶ 多職種連携についてグループワークにて体験する	
13 限 25 時間 26 時間	多職種連携について	多職種連携によるチームアプローチについて学ぶ 多職種連携についてグループワークにて体験する	
14 限 27 時間 28 時間	まとめ	授業の振り返りとまとめを行う	
15 限 29 時間 30 時間	まとめ	授業の振り返りとまとめを行う	

科目名		科目時間総数	教員名
精神医学		60時間 (30限)	阿部真之
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	オリエンテーション 精神医学の歴史	西洋と日本における精神医学の歴史を理解し、説明できる。	
2限 3時間 4時間	脳および神経の解剖生理	脳の構造を理解するとともに、神経系の発生や構成についても理解できる。	
3限 5時間 6時間	脳および神経の解剖生理	中枢神経について理解し、説明できる。	
4限 7時間 8時間	脳および神経の解剖生理	末梢神経系を理解し、説明できる。	
5限 9時間 10時間	精神医学の概念	精神医学を学ぶ上で必要な用語の定義を理解し、説明ができる。	
6限 11時間 12時間	精神医学の概念	精神医学の方法と鍵概念について理解し、説明できる。	
7限 13時間 14時間	精神医学の概念	精神医学の領域について知り、説明できる。	
8限 15時間 16時間	精神医学の概念	精神障害の分類を理解し、説明できる。	
9限 17時間 18時間	精神医学の概念	診断の手順と方法を知り、面接での問診について実践できる。	
10限 19時間 20時間	精神医学の概念	面接における問診についての理解を深め、精神症状についての理解を深めることができる。	
11限 21時間 22時間	精神医学の概念	精神症状の状態像を理解するために、身体検査と心理検査の必要性について理解することができる。	
12限 23時間 24時間	精神医学の概念	神経学的診断法および心理検査を理解し、説明できる。	
13限 25時間 26時間	精神医学の概念 代表的な精神疾患	構造化面接と操作的診断基準を理解し、説明できる。 症状性を含む器質性精神障害を理解し、説明できる。	
14限 27時間 28時間	精神医学の概念 代表的な精神疾患	精神作用物質使用による精神および行動の障害について理解し、説明できる	
15限 29時間 30時間	精神医学の概念 代表的な精神疾患	統合失調症を理解し、説明できる。	

科目名		科目時間総数	教員名
精神医学		60時間 (30限)	阿部真之
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
16限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	気分障害を理解し、説明できる。	
		31時間	32時間
17限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害を理解し、説明できる。	
		33時間	34時間
18限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	生理的障害、行動症候群を理解する。成人のパーソナリティおよび行動の障害を理解し、説明できる。	
		35時間	36時間
19限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	知的障害と発達障害について理解し、説明できる。	
		37時間	38時間
20限	精神医学の概念 代表的な精神疾患	小児期および青年期における行動、情緒の障害を理解し、説明できる。神経系の疾患を理解し、説明できる。	
		39時間	40時間
21限	精神疾患の治療	身体療法および精神療法の定義や介入方法を理解し、説明できる。	
		41時間	42時間
22限	精神疾患の治療	精神療法の技法や治療関係を理解するとともに、さまざまな精神療法について理解し、説明できる。	
		43時間	44時間
23限	精神疾患の治療	さまざまな精神障害リハビリテーションを理解し、説明できる。	
		45時間	46時間
24限	病院精神医療と地域精神科 医療	病院精神医療の現状と課題を理解し、説明できる。	
		47時間	48時間
25限	病院精神医療と地域精神科 医療	精神科病院におけるチーム医療と精神保健福祉士の役割を理解し、説明できる。	
		49時間	50時間
26限	病院精神医療と地域精神科 医療	精神科救急医療について理解し、説明できる。地域精神医療の展開を理解するとともに、精神医療と福祉の連携について理解し、説明できる。	
		51時間	52時間
27限	精神医学における人権	精神科医療機関と患者の人権について理解できる インフォームドコンセントについて理解し、精神医療における人権擁護の理解を深めることができる。	
		53時間	54時間
28限	司法精神医学	司法精神医学について理解し、説明できる。	
		55時間	56時間
29限	司法精神医学	司法精神医学におけるリスクや危機介入について理解し、説明できる。	
		57時間	58時間
30限	まとめ	全体を振り返り、精神疾患の症状、精神疾患の診断と治療法について理解を深めることができる。	
		59時間	60時間

科目名		科目時間総数	教員名
精神保健学		60時間 (30限)	阿部真之
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	オリエンテーション 精神保健の基礎	現代社会と精神保健について理解できる。	
2限 3時間 4時間	精神保健の基礎	精神保健の意義と課題について理解できる。	
3限 5時間 6時間	ライフサイクルにおける精神保健	乳幼児期における精神保健を理解するとともに、学童期における精神保健を理解し、説明できる。	
4限 7時間 8時間	ライフサイクルにおける精神保健	思春期における精神保健を理解するとともに、青年期における精神保健を理解し、説明できる。	
5限 9時間 10時間	ライフサイクルにおける精神保健	青年期における精神保健を理解を深めるとともに、成人期における精神保健を理解し、説明できる。	
6限 11時間 12時間	ライフサイクルにおける精神保健	成人期における精神保健を理解を深めるとともに、老年期における精神保健を理解し、説明できる。	
7限 13時間 14時間	ライフサイクルにおける精神保健	老年期における精神保健を理解を深め、説明できる。	
8限 15時間 16時間	精神保健における個別課題への取り組み	精神障害対策について理解できる。 認知症対策について理解し、説明できる。	
9限 17時間 18時間	精神保健における個別課題への取り組み	アルコール関連問題対策を理解し、説明できる。 薬物乱用防止対策を理解し、説明できる。	
10限 19時間 20時間	精神保健における個別課題への取り組み	物質関連問題に関する理解を深めることができる。 思春期・青年期精神保健対策を理解し、説明できる。	
11限 21時間 22時間	精神保健における個別課題への取り組み	思春期・青年期精神保健対策の理解を深めることができる。 地域精神保健対策を理解し、説明できる。	
12限 23時間 24時間	精神保健における個別課題への取り組み	地域における「こころの健康づくり」の動向について理解し、説明できる。 司法精神保健福祉対策を理解し、説明できる。	
13限 25時間 26時間	精神保健における個別課題への取り組み	緩和ケアと精神保健を理解し、説明できる。	
14限 27時間 28時間	精神保健活動の実際	家庭における精神保健を理解し、説明できる。	
15限 29時間 30時間	精神保健活動の実際	学校における精神保健を理解し、説明できる。	

科目名		科目時間総数	教員名
精神保健学		60時間 (30限)	阿部真之
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
16限	精神保健活動の実際	職場における精神保健を理解し、説明できる。	
31時間 32時間			
17限	精神保健活動の実際	地域における精神保健を理解し、説明できる。	
33時間 34時間			
18限	地域精神保健の現状と課題	地域精神保健施策の発展と経緯を理解するとともに、地域精神保健活動の実際について理解し、説明できる。	
35時間 36時間			
19限	地域精神保健の現状と課題	地域保健・地域精神保健に係る関係法規・関係施策を理解し、説明できる。	
37時間 38時間			
20限	地域精神保健の現状と課題	地域保健・地域精神保健に係る関係法規・関係施策を理解し、説明できる。	
39時間 40時間			
21限	地域精神保健の現状と課題	精神保健福祉に関する調査研究を理解し、説明できる。	
41時間 42時間			
22限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	メンタルヘルスにおける精神保健福祉士の役割を理解し、説明できる。 認知症領域における精神保健福祉士の役割を理解し、説明できる。	
43時間 44時間			
23限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	自殺対策における精神保健福祉士の役割を理解し、説明できる。 スクールソーシャルワーカーにおける役割を理解し、説明できる。	
45時間 46時間			
24限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	さまざまな領域における精神保健福祉士の役割を理解し、説明できる。 メンタルヘルスにおける精神保健福祉士の役割を理解し説明できる。	
47時間 48時間			
25限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	国および行政機関の役割を理解するとともに、各種行政機関の役割についても理解し、説明できる。	
49時間 50時間			
26限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	保健専門職の役割について理解し、精神保健における連携のあり方の理解を深めることができる。	
51時間 52時間			
27限	メンタルヘルスと精神保健福祉士の役割	精神保健に関わる専門職種との役割と連携について理解し、説明できる。	
53時間 54時間			
28限	世界の精神保健	世界の精神疾患の疫学について理解するとともに、WHOなどの国際機関の活動を理解し、説明できる。 諸外国の精神保健医療の実情を理解できる。	
55時間 56時間			
29限	世界の精神保健	世界の精神保健について理解を深め、説明できる。	
57時間 58時間			
30限	まとめ	振り返りを通して、ライフサイクルにおける精神保健が関わる問題と対策、精神保健に関わる地域の仕組み、専門職種間の連携について理解を深め、それぞれを説明できる。	
59時間 60時間			

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 レポート実践研究（国語表現）		教員名 土川律子	
科目時間数： 30時間 (15限)		授業の種類： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択の別： <input checked="" type="checkbox"/> 必修・選択	配当学年： 1 年次	開講時期： <input checked="" type="checkbox"/> 前期・後期・集中	
【授業の目的・ねらい】 記録・レポート等、論理的文章を書くための基礎的な事項を学び、事柄をわかりやすく、正確かつ的確に伝える記述する記述力の習得を目標とする。記録文における文章全体の構成、また細部における客観的、具体的記述力を身に付ける。			
(当該科目が最も関連するDPに○)			
【ディプロマポリシーとの関連】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身につける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身につける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む			
【授業全体の内容の概要】 本授業では、論理的文章の記述力を高めることを目標とする。自己の表現力を確認し、基礎的事項を学び、文全体の構成、事実と意見を書き分ける等、わかりやすく論理的文章の表現ができる。			
【授業における達成課題】 当該科目について、支援に関わる者として必要な記述のしかたが実践できる。			
【使用教材・テキスト等】 書き込み式日本語表現ノート（三弥井出版）・日本語表現法ワークブック（三省堂） 日本語表現練習帳（すばる舎リンケージ）			
【使用教室】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他（ ）			
【評価方法】 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="checkbox"/> 3. 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 授業態度			
【備考】 評価について：筆記試験、授業態度等を勘案し、A(80点以上)、B(70～79点)、C(60～69点)、D(59点以下：不合格)で評価します			
【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無			
【内 容】 国語教諭			

科目名 レポート実践研究（国語表現）		科目時間総数 30時間（15限）	教員名 土川律子
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1	1 授業の概要	記述の基礎、表記、書き言葉の基本が理解できる	
	2 「理解」する力	図形を文章で説明し、その説明文を理解、復元できる	
2	3 「説明」する力	地図を文章で説明し、その説明文を理解、復元できる	
	4 文の組み立て	主語・述語、修飾関係を理解し、表現できる	
3	5 話し言葉と書き言葉	話し言葉と書き言葉、表記の基本を把握する	
	6 文のつなぎ方	論理的文章の展開は、適切な接続によることが理解できる	
4	7 要約力トレーニング①	前回までの学習を要約により実践できる	
	8 視点	客観的文章記述のため、事柄に視点を置いた表現ができる	
5	9 要約力トレーニング②	正確な読解と分かりやすい表現ができる	
	10 意味の限定	修飾の仕方による曖昧な表現を正せる	
6	11 要約力トレーニング③	過不足なく適切な説明をし、要約できる	
	12 言葉の順序	修飾語、語順による意味の違いが理解できる	
7	13 要約力トレーニング④	要約により、論理的な説明ができる	
	14 定義・分類の表現	定義・分類の表現が理解でき、実践できる	
8	15 意見文への道①	事実と意見を書き分けることができる	
	16 比較・対比の表現	比較、対比による共通点と相違点の表現ができる	
9	17 意見文への道②	要約と意見を書き分ける	
	18 列挙・順序・因果関係	出来事の経過・因果関係が説明できる	
10	19 意見文への道③	意見を論理的に表現できる	
	20 引用	レポート・論文に用いられる引用の形式を知り、実践できる	
11	21 意見文を書く①	課題に対する自分の意見を説明できる	
	22 敬語	職場での人間関係を円滑にする敬語表現ができる	
12	23 意見文を書く②	事実・意見・理由説明が適切にできる	
	24 注意すべき敬語表現	前回の学習に加え、より実践的な敬語表現ができる	
13	25 論理トレーニング①	課題に対する意見を述べるにあたり、論理的に構成ができる	
	26 記録文を書く	実習記録など、事実の記述が適正に表現できる	
14	27 論理トレーニング②	課題について意見・考察に加え、引用による論証ができる	
	28 レポートの書き方①	全体の構成を意識して、記述に必要な事柄を箇条書きに出来る	
15	29 レポートの書き方②	前回の学習を踏まえ、課題について記述できる	
	30 小論文の書き方	課題を自ら設定し、記述できる	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 視覚障害福祉論（点字）		教員名 横 澤 忠	
科目時間数 ： 30時間（15限）		授業の種類 ： 講義・演習・実習	
必修・選択の別 ： 必修・選択	配当学年 ： 1年次	開講時期 ： 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 視覚障害者の情報収集やコミュニケーション方法の文字である「点字」の組立て等を理解し、その読解力等を身につけるとともに、視覚障害者への支援手段等に触れる学習とする。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】（当該科目が最も関連するDPに○）</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む <p>【授業全体の内容の概要】（講義と演習ほか） 点字の組立て／点字の歴史／点字の表記と分かち書き 点字を書く器具&点字関係資料／点字を読む／点字を書く 点字で遊ぶ／（視覚障害者用サイン探索と施設見学）／当事者の話</p> <p>【授業における達成課題】 視覚障害者の使用文字である点字に興味を持つ 点字の組立てや書き方の基本ルールを習得し、点字を書く 身の周りにある点字を見つけ、内容を知る（＝点字を読む） （視聴覚障がい者情報センターの見学等を体験する）</p>			
	使用教材	出版社	
学生用	「初めての点訳」（第3版）	全国視覚障害者情報提供施設協会	
<p>【使用教室】</p> <ol style="list-style-type: none"> HR 介護実習室 家政実習室 視聴覚室 PC実習室 接遇実習室 その他（関連施設等で校外学習） 			
<p>【評価方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 筆記試験 レポート 出席 授業態度 実技試験 その他（点字の提出物・確認テストほか） 			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有・無</p>			
<p>【内 容】 点訳奉仕活動（継続中）&点字指導員としての奉仕員養成実務経験</p>			

科目名		科目時間総数	教員名
視覚障害福祉論（点字）		15 限	横 澤 忠
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
	点字の読み書き 関係機関と当事者	視覚障害者の使用文字である点字の読み書き等の習得 視覚障害者用サイン探索、関係機関と当事者を知る	
1 限	点字の組み立て	自分の周りにおける点字の存在を認識する 点字の五十音等を学び、簡単な点字を読むことができる 到達目標：点字の組み立てを理解し、点字を読む（初級①）	
2 限	点字の歴史 点字の表記①	世界の点字と日本の点字の歴史について学ぶ 点字のかなづかいについて学ぶ 到達目標：点字のかなづかいを理解し、点字を読む（初級②）	
3 限	点字の表記②	点字の数字・アルファベットについて学ぶ 点字の印刷物を読んで、問いに答えることができる 到達目標：点字の表記を理解し、点字を読む（中級）	
4 限	点字の分ち書き 点字を書く器具	点字の分ち書き（複合語・固有名詞）について学ぶ 点字の器具を知り、簡単な点字を書くことができる ⇒提出物① 到達目標：分ち書きを理解し、点字を書く	
5 限	（視覚障害者用サイン） ⇒実施不可時は個別探索方式	街なかにある視覚障害者のためのサインを確認する（校外学習） 視覚障害者のためのサインの種別等を認識する 到達目標：どのようなサインがどこにあるか記録する	
6 限	発見サインまとめ	街なかのサイン探索のまとめを作成することができる どのようなサインがどこにあったかを発表することができる 到達目標：調査結果をまとめ、発表する ⇒提出物②	
7 限	点字の記号類 点字を書く（短文）	点字の記号類と書き方の実際について学ぶ 器具を使用して、点字の短文を書くことができる ⇒提出物③ 到達目標：点字のルールを理解し、短文を書く（初級）	
8 限	点字印刷物 日本語はむずかしい	点字印刷物に触れ、印刷方法の違いを学ぶ 漢字のいろいろな読み方について学ぶ 到達目標：漢字のいろいろな読み方について理解する	

9	限	手でみる博物館 長文点訳に挑戦	視覚障害者のための手でみる博物館について学ぶ 器具を使用して、点字の長文を書くことができる ⇒提出物④ 到達目標：正確な点字を書きながら、分ち書きを習熟する
10	限	点字関係資料 点字で考える	点字習得用の各種関係資料について学ぶ 点字を扱った教材で、点字の遊びなどを体験する 到達目標：点字を使った教材を使用し、点字への興味を増す
11	限	視覚障害者の状況 視覚障害者の福祉制度	視覚障害者の状況や日常生活について学ぶ 視覚障害者の福祉制度の概論と視覚障害者への接し方について学ぶ 到達目標：視覚障害者への接し方等を理解する
12	限	(関連施設の見学) ⇒実施不可時は別内容	視聴覚障がい者情報センターについて学ぶ (校外学習) 点字関係資料の宝庫 (各種辞書・点訳百科事典) を見聞する 到達目標：視覚障害者への情報提供について理解する
13	限	視覚障害者の話	視覚障害当事者から読書・生活等の話を聞き、知識を深める 視覚障害者の歩行介助について、実体験として学ぶ 到達目標：視覚障害者の読書環境や日常生活等を理解する
14	限	パソコン点訳体験	視覚障害者がパソコンを使用する方法について学ぶ パソコン点訳の初歩 (6点入力等) について学ぶ 到達目標：パソコン点訳の初歩を体験する
15	限	点字を書く (長文) 確認テスト	器具を使用して、点字の長文 (自由課題) を書くことができる 点字の読みと点字に関する小レポートを作成することができる ⇒ 提出物⑤ 到達目標：点字のルールを理解し、長文を書く (中級)

※ 5限の校外学習を実施できない場合は、個別探索方式とする。

※ 12限の校外学習を実施できない場合は、別内容を学習する。

科目名		科目時限総数	教員名
レクリエーションⅠ		15 限	佐々木 純子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	オリエンテーション	自己紹介	
2 限	ラポールづくり	信頼関係を学ぶためのコミュニケーションについて理解する	
3 限	対象化ゲーム	対象化ゲームを通し、自身の気持ちを相手に適切に伝えることができる	
4 限	自己理解・他者理解	ジョハリの窓を通し、盲点部分に気づくことができる	
5 限	対象者の理解	障害を持つ人が参加しやすいレクリエーション内容を考えることができる	
6 限	〃	高齢者が参加しやすいレクリエーション内容を考えることができる	
7 限	〃	子供が参加しやすいレクリエーションを考えることができる	
8 限	昔の遊び	レクリエーションは時代とともに変化し続けていることを理解する	
9 限	コーチング技法	相手のモチベーションを向上させる声掛けや関わり技法を理解する	
10 限	クラスレクリエーション	交流会におけるレクリエーションの企画を考案する	
11 限	〃	〃	
12 限	レクリエーション実施	交流会を実施し、レクリエーションを効果的に展開できる	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	効果測定	交流会の効果を測定し、次回への課題を検討することができる	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 高齢者施設実習指導		教員名 西山 直輝									
科目時間数： 15時間 7.5限		授業の種類： <input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input type="checkbox"/> 演習 ・ <input type="checkbox"/> 実習									
必修・選択の別： <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択	担当学年： 1年次	開講時期： <input checked="" type="checkbox"/> 前期 ・ <input type="checkbox"/> 後期 ・ <input type="checkbox"/> 集中									
<p>【授業の目的・ねらい】 高齢者施設実習に取り組むにあたり、実習の意義・目的を理解し、実習準備を進めていく。</p>											
(当該科目が最も関連するDPに○)											
<p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む 											
<p>【授業全体の内容の概要】 初めて福祉施設での実習に取り組むため、実習の目的を理解し、実習に向けて準備と心構えに取り組んでいく。</p>											
<p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の目的を理解し、実習期間で学ぶこと経験することについて考えることができる。 ・個人情報保護について学び、実習生・専門職としての守秘義務を遵守できるようになる。 ・実習日誌の書き方を学び、正しい記録の方法を学ぶ。 											
<p>【使用教材・テキスト等】 なし</p>											
<p>【使用教室】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 25%;"><input checked="" type="checkbox"/> 1. HR</td> <td style="width: 25%;">2. 介護実習室</td> <td style="width: 25%;">3. 家政実習室</td> <td style="width: 25%;">4. 視聴覚室</td> </tr> <tr> <td>5. PC実習室</td> <td>6. 接遇実習室</td> <td colspan="2">7. その他 ()</td> </tr> </table>				<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室	5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()	
<input checked="" type="checkbox"/> 1. HR	2. 介護実習室	3. 家政実習室	4. 視聴覚室								
5. PC実習室	6. 接遇実習室	7. その他 ()									
<p>【評価方法】 出席率・授業態度にて評価をする</p>											
<p>【備考】</p>											
<p>【担当教員の実務経験の有無】 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無</p>											
<p>【内容】 福祉施設での実務経験</p>											

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 高齢者施設実習		教員名 西山 直輝	
科目時間数： 24時間 12限		授業の種類： 講義 ・ 演習 実習	
必修・選択 の別： 必修 選択	担当学年： 1年次	開講時期： 前期・後期・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 座学で学んだ内容が実際の展開されている現状を理解し、今後の学びを深められることを目的とする。 利用者・職員とのコミュニケーションを通じ、自身の自己覚知を促進を目指す。</p>			
(当該科目が最も関連するDPに○)			
<p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む 			
<p>【授業全体の内容の概要】 福祉現場で実習に取り組み、福祉現場の実際を理解する。 利用者・職員とのコミュニケーションをとり、自身の強み課題を把握する。</p>			
<p>【授業における達成課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者施設での過ごし方、業務内容を理解できるようになる ・ 実習を通じて自己覚知に取り組めるようになる 			
<p>【使用教材・テキスト等】 なし</p>			
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他(実習先施設)</p>			
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">実習指導者の実習評価を基に実習担当教員が最終評価を実施</p>			
<p>【備考】</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>			
<p>【内容】 福祉施設での実務経験</p>			

科目名 高齢者施設実習		科目時間総数 24時間 (12限)	教員名 西山 直輝
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	施設実習	利用者・職員とコミュニケーションをとる 職員の業務を体験する	
2限 3時間 4時間	〃	〃	
3限 5時間 6時間	〃	〃	
4限 7時間 8時間	〃	〃	
5限 9時間 10時間	〃	〃	
6限 11時間 12時間	〃	〃	
7限 13時間 14時間	〃	〃	
8限 15時間 16時間	〃	〃	
9限 17時間 18時間	〃	〃	
10限 19時間 20時間	〃	〃	
11限 21時間 22時間	〃	〃	
12限 23時間 24時間	〃	〃	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ビジネス実務 I		教員名 吉田あかり	
科目時間数 : 30時間 (15 限)		授業の種類 : 講義・ 演習 ・実習	
必修・選択の別 : 必修 ・選択	配当学年 : 1 年次	開講時期 : 前期 ・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 対人関係のあり方とその基本的な言動としてのビジネスマナーの基本を理解、実践できる</p> <p>【社会福祉学科ディプロマポリシーとの関連】</p> <p>1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身につける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身につける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む</p> <p>【授業全体の内容の概要】 社会人となったとき、適切な考え方を持って行動ができるよう対人関係の重要性と、社会人としての言葉遣い・電話応対・来客対応の基本を学ぶ</p> <p>【授業における達成課題】 社会人として求められる心構えを理解し、社会人としてのビジネスマナーの基本を学び、その技術を実践することができる</p>			
<p>【使用教材・テキスト等】 社会でいきる実践ビジネスマナー ウイネット</p>			
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】 授業態度10% 出席率10% 期末試験80%</p>			
<p>【備考】 ・筆記試験は60点以上を合格とする。 ・授業態度については、ルーブリック評価を参考にする。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>			
<p>【内 容】 職業訓練校等でビジネスマナー講師としての実務経験</p>			

科目名 ビジネス実務 I		科目時間総数 30 時間 (15 限)	教員名 吉田 あかり
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限	1時間	オリエンテーション	授業の位置づけについて理解する
	2時間	〃	
2限	3時間	第一印象と基本動作	第一印象の大切さを理解し、身だしなみ、表情、挨拶とお辞儀の基本を習得する
	4時間	〃	
3限	5時間	言葉遣いの基本	仕事上の話し方・聞き方の基本と感じの良い言葉遣いを習得する
	6時間	〃	
4限	7時間	〃	敬語の基本を習得する
	8時間	〃	
5限	9時間	〃	敬語とビジネス用語の基本を習得する
	10時間	〃	
6限	11時間	来客対応の基本	接遇とは何かを理解し、お客様の受け付け方や名刺の取り扱い方を実践できる
	12時間	〃	
7限	13時間	〃	ご案内の仕方、お茶の出し方を実践できる
	14時間	〃	
8限	15時間	電話対応の基本	電話の特性を理解し、電話の受け方の基本を習得し、実践できる
	16時間	〃	
9限	17時間	〃	伝言メモの作成と電話のかけ方の基本を習得し、実践できる
	18時間	〃	
10限	19時間	訪問のマナー	訪問のマナーの基本を理解し、実践できる
	20時間	〃	
11限	21時間	ホスピタリティとサービス	ホスピタリティとサービスの概念を学び、ホスピタリティの必要性について理解できる
	22時間	〃	
12限	23時間	クレーム対応	クレーム発生の要因を理解し、クレーム対応の心構えと流れを習得する
	24時間	〃	
13限	25時間	社会人としての心構え	仕事をする上での心構えを習得する 職業人に求められる能力を理解する
	26時間	〃	
14限	27時間	仕事の基本	仕事の進め方において大切なことを学び、理解できる 指示の受け方・報告の仕方を理解し、実践する
	28時間	〃	
15限	29時間	理解度確認	理解度確認テスト・解説
	30時間	〃	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 ボランティア活動		教員名 大富 和弘	
科目時間数： 30時間 15限		授業の種類： 講義 ・ 演習 実習	
必修・選択 の別： 必修 選択	担当学年： 1年次	開講時期： 前期・後期・ 集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 ボランティア活動を通じて、地域理解の促進やコミュニケーション能力の向上を目指す。 また、ボランティアの経験を通して自身の進路選択の幅や価値観を広げることも目的とする。</p>			
(当該科目が最も関連するDPに○)			
<p>【ディプロマポリシーとの関連】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む 			
<p>【授業全体の内容の概要】 ボランティアに取り組み、ボランティアの意義や目的を知る。</p>			
<p>【授業における達成課題】 ボランティア活動を通してその地域の理解、地域貢献を行うことができる。 地域住民や職員とのコミュニケーションをとることができる。</p>			
<p>【使用教材・テキスト等】 なし</p>			
<p>【使用教室】</p> <p>1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室</p> <p>5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他(施設等)</p>			
<p>【評価方法】</p>			
<p>【備考】</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 ・ 無</p>			
<p>【内 容】 福祉現場での実務経験あり。</p>			

科目名 高齢者施設実習		科目時間総数 30時間 (15限)	教員名 大富 和弘
限・時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と達成目標	
1限 1時間 2時間	オリエンテーション	ボランティアの目的を理解する ボランティアを行う地域について学ぶ	
2限 3時間 4時間	〃	〃	
3限 5時間 6時間	オリエンテーション②	実際にボランティアを行う場に出向き、地域の方と交流する	
4限 7時間 8時間	ボランティア実施	ボランティアを行う	
5限 9時間 10時間	〃	〃	
6限 11時間 12時間	〃	〃	
7限 13時間 14時間	〃	〃	
8限 15時間 16時間	〃	〃	
9限 17時間 18時間	〃	〃	
10限 19時間 20時間	〃	〃	
11限 21時間 22時間	〃	〃	
12限 23時間 24時間	〃	〃	
13限 25時間 26時間	〃	〃	
14限 27時間 28時間	〃	〃	
15限 29時間 30時間	〃	〃	

授業計画表

ソーシャルワーク 学科

MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校

科目名 LHR		教員名 西山 直輝 會津 真子	
科目時間数： 50時間（25限）		授業の種類： <input checked="" type="radio"/> 講義 ・ 演習 ・ 実習	
必修・選択 の別： <input checked="" type="radio"/> 必修・選択	配当学年： 1年	開講時期： <input checked="" type="radio"/> 前期・後期・集中	
<p>【授業の目的・ねらい】 学校生活に必要な連絡事項等や学校行事等の準備を行う。</p> <p>【ディプロマポリシーとの関連】 (当該科目が最も関連するDPに○)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. 自分自身の価値観を広げ、他者と協働する力を身に付ける 2. 人と人をつなぎながら良いコミュニティを生み出していく力を身に付ける 3. 多職種連携、地域連携を図りながら、様々な地域ニーズに気づくことのできる幅広い視野を育む</p> <p>【授業全体の内容の概要】 学内イベント等に積極的に取り組むことで、クラスの雰囲気を作り上げていく。</p> <p>【授業における達成課題】 クラスとしてのまとまりとクラスメイトの多様な価値観を認め合う。</p>			
	使用教材	出版社	
	なし		
<p>【使用教室】</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. HR 2. 介護実習室 3. 家政実習室 4. 視聴覚室 5. PC実習室 6. 接遇実習室 7. その他 ()</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>1. 筆記試験 2. レポート <input checked="" type="radio"/> 3. 出席 <input checked="" type="radio"/> 4. 授業態度 5. 実技試験 6. その他 ()</p>			
<p>【備考】</p> <p>評価について：レポートの点数、及び出席率を勘案しA（80点以上）、B（79～70点）、C（69～60点）、D（59点以下）の4段階で評価する。</p>			
<p>【担当教員の実務経験の有無】 有 <input checked="" type="radio"/> 無</p> <p>【内容】 福祉施設での実務経験</p>			

科目名		科目時限総数	教員名
LHR		25 限	西山 直輝・會津 真子
時間数	教育に含むべき事項・テーマ	主な学習内容と到達目標	
1 限	連絡事項・行事等準備	与えられた役割を適切に遂行する	
2 限	〃	〃	
3 限	〃	〃	
4 限	〃	〃	
5 限	〃	〃	
6 限	〃	〃	
7 限	〃	〃	
8 限	〃	〃	
9 限	〃	〃	
10 限	〃	〃	
11 限	〃	〃	
12 限	〃	〃	
13 限	〃	〃	
14 限	〃	〃	
15 限	〃	〃	
16 限	〃	〃	
17 限	〃	〃	
18 限	〃	〃	
19 限	〃	〃	
20 限	〃	〃	
21 限	〃	〃	
22 限	〃	〃	
23 限	〃	〃	
24 限	〃	〃	
25 限	〃	〃	